

九州大学経営協議会議事録

日時：平成30年6月21日（木）13：00～14：25

場所：九州大学 椎木講堂大会議室

出席者：29名中19名出席

【構成員等の紹介】

経営協議会委員及び本学の役員等について紹介があった。

【審議事項等】

1 役員の退職手当に係る業績評価について

平成30年3月末をもって任期満了となった理事の在任期間（平成28年12月1日～平成30年3月31日）の退職手当に係る業績評価について説明があり、審議の結果、これを議決した。

2 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

平成29年度計画に関する自己点検・評価の結果に基づき作成した「平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書」について説明があり、審議の結果、これを議決した。

3 平成29事業年度の決算について

文部科学省へ提出する平成29事業年度財務諸表、決算報告書及び事業報告書について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような質疑応答があった。

・九州大学の財政状況は健全に推移しているという理解でよいか。

→移転事業を控え、一時は平成29年度に欠損がでることも想定されたが、安定的な財政基盤構築のため業務改善による経費削減、財源の多様化を推進し、移転のための目的積立金を準備するなど、あらゆる手立てを打ってきた。財政状況は健全に推移しているとの認識である。

・平成29年度計画の実施状況にかかる評定の結果について、平成28年度と比べてⅣが減り、Ⅲが増えているが、運営費交付金に影響はないのか。

→年度ごとに計画が変わるまたは達成すべき基準も異なるものもあるため、単純にⅢの数、Ⅳの数で交付金の額が変わるものではない。

・決算報告書を見ると予算額から収入が増加しているようだが、主な要因は何か。

→移転事業のために施設整備費補助金が増加したこと、手術件数、患者数等の増加により附属病院収入が増加したこと等による。

4 平成31年度概算要求事項について

文部科学省へ提出する平成31年度概算要求事項について説明があり、審議の結果、これを議決した。

5 業務上の余裕金の運用に係る認定申請について

国立大学法人法の一部改正に伴い平成29年11月6日付けで文部科学大臣宛認定申請を行った申請書の再申請について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような意見があった。

- ・「第2」区分の商品であっても元本割れのリスクはある。リスクがないところにはリターンもないので、リスクをどこまで許容するかを見極めることが重要。

- 6 平成29年度資金運用実績について
平成29年度資金運用実績について、報告があった。

【その他、報告事項等】

- 伊都キャンパス完成記念式典について
平成30年9月29日に開催される伊都キャンパス完成記念式典について案内があった。

【懇談会】

- 「進化からとらえる色覚の多様性」と題して九州大学における研究活動の紹介があった。

【その他】

次回の経営協議会は平成30年10月25日(木)に開催予定である旨の案内があった。

(以 上)